

## 書籍企画書

タイトル	「現役東大生社長 職業：サムライ」
サブタイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史が僕の人生を変えた！</li> <li>・ バンド少年が「東大」に入り「サムライ」になった日</li> </ul>
キャッチコピー (帯文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「サムライ」のできるなら「〇〇」でもできる！</li> <li>・ 世界初サムライ特化起業！？</li> <li>・ 誰にでも自分だけの何か「無性に惹かれるもの」があるはず</li> </ul>
本書の内容	<p>エッセイ</p> <p>東大入学後もバンド一筋、ミュージシャンを目指す少年が、ある日突然燃え尽きた。自分と向き合う日々の中、思い出すのは幼い頃から心惹かれた「サムライ」の存在。「思いと行動は一致させてこそ！」自分と同じ名字の吉田松陰の言葉をきっかけに世界初「サムライ」特化企業を設立！</p> <p>幼少期から影響を受けた芸能人や歴史上の人物とのエピソードを交えながら“「好きなもの」と生きていく”方法を考える。</p>
著者名	RYO! (株式会社 DO THE SAMURAI 総大将)
著者 プロフィール	<p>RYO! 本名：吉田亮</p> <p>プロのサムライ、現役東大生（文学部）</p> <p>2016年4月 世界初「サムライ」特化企業（株）DO THE SAMURAI を設立し総大将（代表取締役）に就任。</p> <p>「サムライを切り口に、日本文化や歴史に“楽しく”触れるきっかけを」という志のもと、私塾（RYO!下村塾）や史跡ツアー、歴史イベント等を主催。日本各地での講演も行う。</p> <p>2014年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学生 OF THE YEAR のエンタメ部門受賞</li> <li>・ 渋谷ヒカリエにて講演&amp;パフォーマンス</li> </ul> <p>2015年1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラウドファンディングに挑戦、2日間で目標金額達成</li> </ul> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本テレビ「世界一受けたい授業」VTR 出演</li> <li>・ JOYSOUND 海外向けイベントで甲冑パフォーマンス</li> </ul>

	<p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NHK ニュース9に取り上げられる (伊勢谷友介氏主宰の塾でのやり取り)</li> <li>・ 東京都主催 TOKYO STARTUP GATEWAY 2015 にて、歴史や文化を伝える事業がファイナリストに選出される (30/600人)</li> </ul> <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の文化や歴史を発信する活動が評価され、東大の代表として北京大学へ訪問</li> <li>・ NHK 教育テレビ「知恵泉」出演</li> <li>・ BS12ch「夢ラボ」にて取り上げられる</li> </ul> <p>その他、毎週企画イベント、私塾、講演会ゲスト出演等を行う</p>
<p>企画意図</p>	<p><b>【この本を企画した理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画者は、大学生を中心とした同世代の人達から、毎日のように進路や転職、起業に関する相談を受けてきました。その中で、毎回必ず聞かれるのが、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どういった生き立ちを経て、現在に至るのか？</li> <li>・ なぜ歴史や文化で起業したのか？</li> </ul> </li> </ul> <p>といった自身の経験でした。</p> <p>生きる楽しみを見つけるヒントをもっと知ってもらいたい、悩める多くの人たちの助けになりたい。との思いから本書を企画しました。</p> <p><b>【この本が売れる理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学を休学・留年し、紆余曲折を経て自分のやりたいこと、使命を見つけていく過程は、進路に悩む若者たちへの指針となる。</li> <li>・ プロのミュージシャンになる！という子供の頃からの夢に挫折しながらも、立ち直り、新しい一歩を踏み出す姿は、違う世界に飛び込むことにためらう人たちの勇気となる。</li> <li>・ 2020年の教育改革に向けて日本の教育が大きな転換を迎えるなか、最高学府の現役東大生が語る言葉には説得力がある。</li> <li>・ 日本のような「正解がない」とされる成熟社会では、これまで重視されてきた「単に情報を処理する力」よりも、新しく仕事を創り出す「情報編集能力」が必要だとされています。その点、明治維新以降いなくなってしまった「サムライ」をテーマに仕事を創り出す過程を辿る本書は、時代の流れに合った仕事観や生き方を</li> </ul>

	<p>模索する読者の参考になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「サムライ」が仕事になるなら、なんでもできる！と、自分の好きなこと、やりたいことを再評価し自信を持ってもらえます。</li> <li>・ 現役東大生がオススメするオリジナル勉強法や書籍も提示できます。</li> </ul>
<p>企画の背景</p>	<p><b>【東大、推薦入試始まる】</b></p> <p>今年より、東京大学でも推薦入試が始まりました。それにより、従来のペーパーテストによる学力重視の選抜から、個人の適性や特技・興味関心にフォーカスした選抜が行われるようになってきました。</p> <p>今後、「平均点が高い」よりも、「一点突破できる能力」が益々求められるなかで、企画者の「日本の文化や歴史に対する知識の深さとそれに込められた熱い思い」のような「個性」を生かす生き方は、東大でも推薦入試が始まった今だからこそ、必要とされます。</p> <p><b>【今年会社を設立、来年卒業のイマ】</b></p> <p>企画者は大学4年になった今春、就職する道を選ばずに、株式会社 DO THE SAMURAI を設立しました。現役東大生ですが、来年2017年3月に卒業予定です。東大卒業後の来年ではなく、覚悟を決め会社を設立した2016年に出版する本だからこそ、読者に多様な生き方の選択肢を提示することができます。</p> <p><b>【人間らしい仕事とは？】</b></p> <p>昨年「週刊ダイヤモンド(8/22号特集)」にて「人工知能が人間の仕事を奪う」がテーマに特集が組まれ、話題になりました。そして今年、実際に人工知能が囲碁の世界チャンピオンに勝利し、これまでの人間の仕事が将来なくなるのではないかという不安が現実のものとなってきました。</p> <p>そんななか本書では、「機械には置き換えることができない人間らしい仕事」とはなんだろう？という疑問に、「サムライの会社」という一つの解を提示することができます。</p> <p><b>【社会起業ブーム】</b></p> <p>東日本大震災以降、人々の社会貢献への意識が高まり、起業ブームとも重なって社会起業が浸透しつつあります。今年6月には「新公益連盟」という、分野の垣根を越えて社会課題の解決に携</p>

	<p>わる社会起業家のための新法人も設立されました。物質ではなく精神的な満足度を求める現代社会では、このような社会起業が益々トレンドになっていくでしょう。</p> <p>そんななか「歴史や文化を残し伝えていこうとする」株式会社 DO THE SAMURAI を設立した背景を記す本書では、2016年現在の日本の社会起業の在り方を知る上でも、参考になります。</p>
読者ターゲット	<p>【メインターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のやりたいことや進路が分からなくて悩んでいる学生やフリーター、社会人の方</li> <li>・ 日々の仕事や生活に追われ、好きな〇〇とのつきあい方に迷っている方</li> </ul> <p>【サブターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもを東大に入れたいとお考えの方</li> <li>・ 「サムライ」という言葉に敏感な歴史好きの方</li> </ul>
類書	<p>「東大卒プログラマー」 PHP 研究所 ときど/著 (2014/7/16)</p> <p>「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。 —東大発バイオベンチャー「ユーグレナ」のとてつもない挑戦」 出雲充/著 ダイヤモンド社 (2012/12/19)</p> <p>「天職は身をたすける!—好きなことを仕事にする方法」 矢尾こと葉/著 サンマーク出版 (2010/8/23)</p>
類書との差別化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「好きなことを仕事にする」といった本は数多くあるものの、「一般的に仕事になると思えない分野」で起業した体験談はあまり例がありません。</li> <li>・ 企画者が実際に同年代の多くの人から質問や相談を受けた内容に基づいているため、独りよがりな文章にはなりにくいです。</li> <li>・ 現役東大生やその親が書いた東大入試対策本はハウツー本となっておりどうしても真面目で固くなりがちです。</li> </ul> <p>この企画では「馬鹿馬鹿しい」と思われるような勉強法が集中力を高め、結果として東大合格に必要な「+α」の部分の伝授することができます。</p>
体裁など	縦書き、その他希望はなし
原稿完成予定	執筆中、初稿は7月中に完成予定です
企画者の要望	写真やイラストは多用していきたいと考えています。

	<p><b>【推薦者候補】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山本博文（東京大学大学院教授）/TV 出演・歴史本著書多数</li> </ul>
<p>この本を制作するために有利な条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画者は現役東大生であり「サムライ」「歴史」といった「好きな人は多いけどそれを仕事にしている人は少ない」ニッチな業種で起業しており、自身の経験を元に具体的な「好きなことを仕事にする方法」を提示できます。</li> <li>高2から東大を目指し始め、1浪し合格、その勉強方法・発想はいわゆる「ハウツー本」にはない、バカバカしいけど簡単で効果あり！な裏技的なもの。その方法をすべて出せます。</li> <li>自身の講演やイベントでの販促が可能（全国各地で開催）</li> <li>Twitter や Facebook 等 SNS での宣伝ができます (Facebook 友達数 3,000 人は全員知り合いです)</li> <li>新聞、TV 等で取り上げて頂くことが多く、知名度があります。</li> </ul>